

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	しなの駅弁開発事業
事業主体 (連絡先)	信濃町地産地消・地域の健康運動推進委員会 (長野県上水内郡信濃町大字柏原 428-2 信濃町役場産業観光課農林畜産係)
事業区分	(6) (ア) 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,147,359 円 (うち支援金: 859,000 円)

### 事業内容

- 住民有志で任意団体 駅弁開発研究会を構成し、信濃町内に存在する道の駅しなのふるさと天望館としなの鉄道北しなの線 黒姫駅の二つの駅で販売が出来る「しなの駅弁」を開発する。
- 開発を通じて住民が町の魅力を再認識するとともに、住民参加型の事業展開によって町内の2つの駅の活性化を図ります。
- 住民のアイデアを多く募ることで信濃町らしさを重視し、地産地消をテーマとして開発事業を展開することで、お米や野菜等、地元の農産物の流通促進を図ります。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 信濃町らしい「しなの駅弁」が開発され、販売するためのパッケージと PR 用のチラシが出来上がりました。
- 販売個数は少ないのですが、開発を通じて町内の農産物等の特産品の見直しが出来、流通促進を図れました。
- レシピ、パッケージが完成しているので、今後、町内の飲食店等で販売する素地が出来ました。
- 住民有志が募ったことで、当初予定していた担い手以外が駅弁製造に取り掛かる可能性が出ており、広がりを見えています。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

しなの駅弁のレシピ、パッケージ、PR 用チラシが出来上がったが、商品販売のためには、食材の安定的な仕入れ、適正価格の設定が必要なため、平成 29 年度春から夏にかけてテスト販売を行い、夏から秋にかけて道の駅しなのふるさと天望館やしなの鉄道黒姫駅で販売する計画です。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(活動写真)



【 開発写真 】

### 【目標・ねらい】

- ① しなの駅弁を開発
- ② 町内のお米、農産物流通促進
- ③ 道の駅しなのふるさと天望館の活性化
- ④ しなの鉄道黒姫駅の活性化

### ※自己評価 【 C 】

【理由】 開発事業の着手が遅くなったため、注文販売で駅弁を試験販売しており、定期的に道の駅しなのふるさと天望館及びしなの鉄道北しなの線 黒姫駅で販売することは出来ていないため。